



## 【第2報告】

# 本学統合報告書と企業の統合報告書 比較研究からの示唆



**2023年6月30日**

**千葉商科大学**

**人間社会学部**

**齊藤紀子ゼミナール4年生一同**

## 研究目的

### より良い情報開示の方法

・・・THE Impact Ranking（大学の取り組みをSDGsの観点から評価した国際ランキング）における順位向上を意図して



## 研究対象

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の国内株式運用期間が選んだ「優れた統合報告書」（2022年2月発表より）

- ・リコー
- ・日立製作所
- ・東京海上ホールディングス
- ・伊藤忠商事
- ・三菱UFJフィナンシャル・グループ
- ・味の素
- ・リクルートホールディングス

（合計7社）

## 「優れた統合報告書」の 特徴的な記載内容

- ①ステイクホルダー（SH）の明記
- ②客観的な評価
- ③価値創造
- ④財務情報（四半期・単年度・複数年度）
- ⑤ガバナンス
- ⑥自社にとっての重要課題・マテリアリティ
- ⑦強み
- ⑧ESGデータブックでの取り組み開示
- ⑨将来展望とそのための方策を語るCEOメッセージ

## 「優れた統合報告書」の 作成上の工夫

- ①デザインを一つのページに収める
- ②財務と非財務の紐づけ
- ③社外取締役の内訳・経歴
- ④SDGsの各ゴールへの自社への取り組み
- ⑤リスク管理（サイバーセキュリティ）体制
- ⑥SHとの対話
- ⑦SH明記・各SHとの関わり方まで示す
- ⑧CEO・CFO・CSuOメッセージの掲載
- ⑨中期経営計画のロードマップ
- ⑩ESGデータブックを別に作成



# ESGデータ:

👉 定量的・定性

	Boundary 対象範囲	Unit 単位	FY2018 2019年3月期	FY2019 2020年3月期	FY2020 2021年3月期	FY2021 2022年3月期
Percentage of female workers in executive management positions	Ricoh Co., Ltd. 単体 <input checked="" type="checkbox"/>		2.2	2.8	3.7	3.6
	Ricoh Group (Japan) グループ(国内) <input checked="" type="checkbox"/>	%	2.1	2.6	3.3	3.4

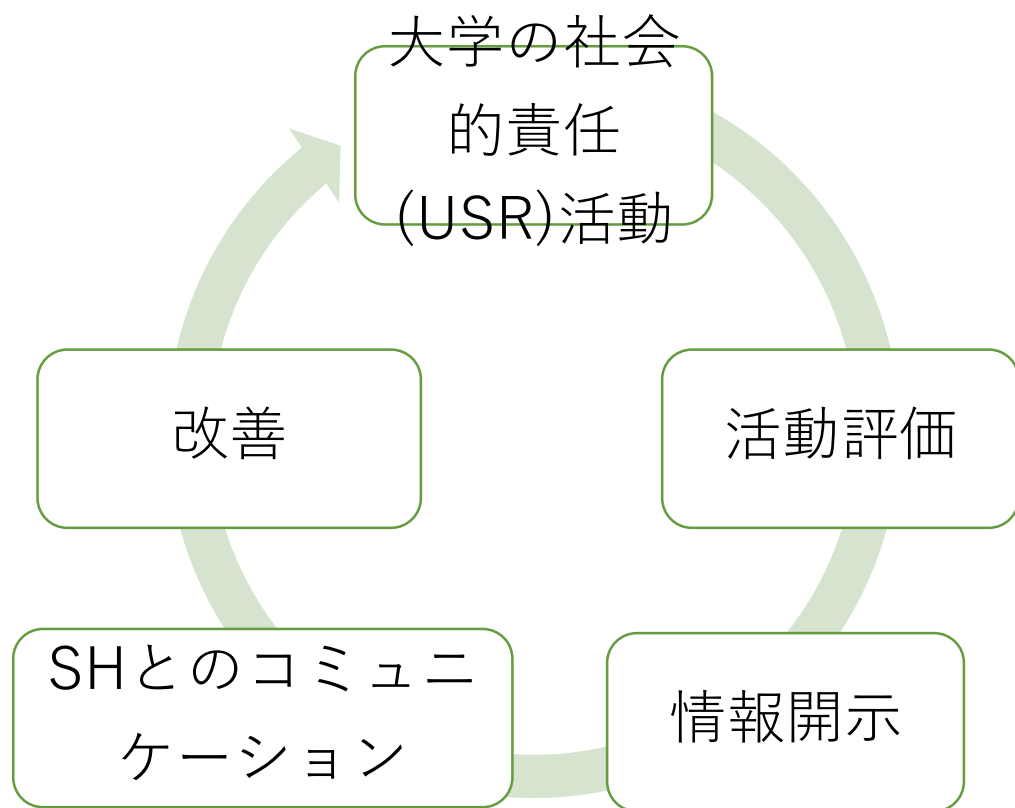
	Boundary 対象範囲	Unit 単位	FY2018 2019年3月期	FY2019 2020年3月期	FY2020 2021年3月期	FY2021 2022年3月期
Amount of charitable donations 寄付金額の実績	Ricoh Co., Ltd. 単体	million yen 百万円	107	114	78	84
	Subsidiaries in Japan 国内関連会社		7	21	35	19
	Overseas subsidiaries 海外関連会社		28	64	56	67
	Ricoh Group Global (total) グループ(グローバル)計		142	201	169	170
Hours spent for social contribution activities 社員の社会貢献活動実施時間	Ricoh Co., Ltd. 単体	hour 時間	1,737	4,728	4,564	4,053
	Subsidiaries in Japan 国内関連会社		2,896	11,784	5,931	8,950
	Overseas subsidiaries 海外関連会社		15,929	37,049	78,065	66,651
	Ricoh Group Global (total) グループ(グローバル)計		20,562	53,560	88,559	79,654
Total contributions to society 社会貢献総支出金額	Ricoh Co., Ltd. 単体	million yen 百万円	124	145	140	103
	Subsidiaries in Japan 国内関連会社		22	73	59	57
	Overseas subsidiaries 海外関連会社		149	313	403	388
	Ricoh Group Global (total) グループ(グローバル)計		295	531	602	548

WLB関連制度の活用・利用状況【味の素(株)のみ】

	2019年度			2020年度			2021年度		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
<b>育児休職制度</b>									
取得・利用者数 (人)									
育児休職	151	40	111	135	28	107	150	46	104
当該年度に育児休職 を取得する権利を取 得した従業員数	154	104	50	132	81	51	149	100	49
育児短時間勤務	145	1	144	141	1	140	126	0	126
子供看護休暇	13	1	12	7	2	5	4	0	4
取得率									
育児休職	-	38.5%	100.0%	-	34.5%	100.0%	-	46.0%	100.0%
育休取得平均日数 (日)	-	16	365	-	12	372	-	13	364
復職率	99.3%	100.0%	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
定着率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%
<b>その他のWLB関連制度</b>									
取得・利用者数 (人)									
看護休暇	7	2	5	6	3	3	5	3	2
看護休職	2	0	2	1	0	1	2	1	1
看護短時間勤務	-	-	-	0	0	0	0	0	0
有給休暇積立保存 制度	68	29	39	55	22	33	43	19	24
ボランティア休暇	42	-	-	1	-	-	23	-	-
リフレッシュ休暇	105	-	-	101	-	-	153	-	-

味の素グループ  
サステナビリティ  
データブック2022  
より

## 本研究で得られた示唆



- ・ 指標の継続的な見直し
- ・ 統合報告書への反映が求められる。今後：
- ・ **マテリアリティの特定**  
（とくに教育研究）
- ・ **長期的に比較可能な社会的指標の確立**  
（中期経営計画ではなく、大学の建学の精神に基づいて）

## < 主要参考文献 >

- Noriko Saito, Takako Hashimoto and Aoi Okudera (2023) "Development of Social Indicators to Evaluate USR Activities" Proceedings, the 42nd Annual Conference of the International Association for Impact Assessment (IAIA 2023), [https://conferences.iaia.org/2023/uploads/edited-presentations/38\\_%20Saito\\_%20Development\\_of\\_Social\\_Indicators.pdf](https://conferences.iaia.org/2023/uploads/edited-presentations/38_%20Saito_%20Development_of_Social_Indicators.pdf)
- 齊藤紀子・橋本隆子・奥寺葵・杉本卓也・安藤崇（2022）「大学の社会的責任(University Social Responsibility: USR)活動を評価・改善するための指標づくり－SDGs達成に向けて」、原科幸彦編『SDGsと大学－自然エネルギー100%大学の挑戦』CUCサポート、pp. 108-147

## < 主要参考サイト >

- 味の素 ホームページ <https://www.ajinomoto.co.jp/>
- 日立製作所 ホームページ <https://www.hitachi.co.jp/>
- 伊藤忠商事 ホームページ <https://www.itochu.co.jp/ja/>
- 三菱UFJフィナンシャル・グループ ホームページ <https://www.mufg.jp/>
- リクルートホールディングス ホームページ <https://recruit-holdings.com/ja/>
- リコーグループ ホームページ <https://www.ricoh.co.jp/>
- Times Higher Education (THE) “University Impact Ranking 2022” <https://www.timeshighereducation.com/impactrankings>
- 東京海上ホールディングス ホームページ <https://www.tokiomarinehd.com/>